

交通事業者アンケート結果概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

銀座通りを走行するバス、タクシーの交通事業者を対象に、交通事業者の立場からみた社会実験の評価や今後のまちづくりの方向性等の検証を行うために、アンケート調査を実施しました。

(2) 設問構成

1. 社会実験の全体評価とその理由
2. 社会実験実施期間中の利用者の変化
3. 社会実験実施による運行面（安全性や定時性等）への影響の有無
4. 歩行者優先道路化に向けた今後の取り組み等
賛同／不便だが許容範囲／不賛同
5. その他自由記述

2. 回収結果

回収結果は以下のとおりとなりました。

バス事業者	1	(回収 1)	
タクシー事業者	8	(回収 3)	
総計	9	(回収 4)	回収率44%

3. 調査結果の概要

※詳細は「4. 調査結果」参照

(1) 社会実験について

- 交通事業者からの社会実験全体としての評価は、「良い」、「悪い」の評価が分かれ、賛否両論の結果となりました。
- バス事業者や一部のタクシー事業者からは、人が集まり、賑わいづくりのためには、多少の不便さも許容できる、などの意見もありました。
- その一方で、一部のタクシー事業者の中には、交通規制によって思うような通行ができず不便であったため、賛同できないという意見がありました。
- その理由として、「かえて利用者が減った」「何のためにやっているかわからない」「PR が不足している」などの意見がありました。
- 社会実験期間中のタクシー利用者数は、来街者数が増えた影響もあって、若干増加しましたが、タクシー事業者（運転手）からの視点からは、むしろ減少したという印象をもたれています。
- 安全性や定時性などの運行面への影響は、ほとんどなかったといえます。

(2) 歩行者優先道路化に向けて

- 交通事業者の視点からは、今後もこのような取り組みをすることについて、不便さを多少感じるが許容範囲であるとして「賛同できる」事業者と「賛同できない」事業者がそれぞれ2社ずつとなっており、意見が分かれていました。
- 社会実験による運行等における不便さなどの課題については、8日間という限られた実施期間の中で、交通事業者として対応しづらいものもあったと考えられます。
- 今後の歩行者優先道路化に向けては、交通事業者とも協議しながら、運行に影響を及ぼさない形で、バスやタクシーの利用者にとっても利便性が向上する、通りの空間及び通行システムについて、さらなる検討を進めていくことが必要です。

4. 調査結果

社会実験全体

(回答、N=4)

- 回答4件中、2件が「良くなかった」または「あまり良くなかった」と回答されていました。
- その理由として、人と車両が接近していて、交通事故やトラブルがおきそうと感じた、お客様にとって迷惑そうに感じた、などがありました。
- その一方で、「やってみてよかった」などの意見もありました。

利用者数の変化

- 回答4件中、3件が「変化がなかった」と回答され、中には、自由記述で「むしろ減った」と回答されている事業者もありました。
- ただし、徳山タクシー協会による「銀座通り歩行者優先道路化社会実験乗車回数集計表」によると、社会実験期間中の乗車回数の総数は、前週（社会実験期間外）と比較し、合計で約10%程度増加していました。

運行等への影響

- 社会実験を実施したことによる運行等（安全性や定時性、乗降場所などに関する影響）については、回答4件中、3件が「影響がなかった」と回答されていました。
- 具体的な内容に関しては、「思うような通行ができずに不便さを感じた」「遠回りになった」などの意見がありました。

今後のまちづくりに向けて

- 賑わいのある環境づくりに向けた今後の取り組みに対しては、回答4件中、2件が「多少不便を感じるが、賑わいづくりのためには許容できる範囲であり賛同できる」と回答され、2件が「賛同できない」と回答されていました。

参考：アンケート票

銀座通り歩行者優先道路化社会実験に関するアンケート調査

1. 今回の社会実験についておたずねします

問1 今回の社会実験について、どのように感じましたか。(あてはまるもの1つに○印を)

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| 1. 大変良かった | 2. 良かった | 3. どちらでもない |
| 4. あまり良くなかった | 5. 良くなかった | 6. わからない |

問2 問1の回答理由をお答えください。

問3 今回の社会実験を実施したことによる、利用客数の変化はありましたか。

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. あった | 2. なかった | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

▷ 具体的にどのような変化がありましたか。

問4 今回の社会実験を実施したことによる、運行面での影響(安全性や定時性、乗降場所などに関する影響)はありましたか。

- | | |
|--------|---------|
| 1. あった | 2. なかった |
|--------|---------|

▷ 具体的にどのような影響がありましたか。運転手や利用者の方からの声なども踏まえご回答ください。

2. 歩行者優先道路化のまちづくりについておたずねします

問5 今回の社会実験では、中心市街地に賑わいをつくり、活性化させていくために、来街者にとって歩いて楽しい環境づくりに向けて歩道空間でより快適に過ごせるように、走行車両の車線数の減少と速度抑制を図りました。このようなまちづくりの取り組みに対して、どのように考えていますか。（あてはまるもの1つに○印を）

- | | |
|--|----------|
| 1. 中心市街地の賑わいづくりのためにはいいことだと思い、賛同できる | |
| 2. 車の走行に多少不便も感じる（または感じると思う）が、賑わいづくりのためには許容できる範囲であり、賛同できる | |
| 3. 賛同できない | 4. わからない |
| 5. その他【 | 】 |

問6 今後中心市街地の取り組みと連携して公共交通の利用促進策として実施してみたいことや、この空間整備や社会実験について何かご意見がありましたらお聞かせください。

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

事業者名	
------	--